

2018年 安全報告書

京福電気鉄道株式会社




2018年 安全報告書

(2017年4月1日～2018年3月31日)



＜目 次＞	頁
1. ごあいさつ	1
2. 基本方針	2
3. 事故等の発生状況とその再発防止措置	3
(1) 鉄軌道運転事故	
(2) 災害（地震、暴風雨、落雷など）	
(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）	
(4) インシデント（事故の兆候）	
(5) 行政指導等	
4. 輸送の安全を確保するための取組み	5
(1) 安全対策のための設備等の改善	
(2) 安全教育	
(3) 異常時対応訓練	
5. 安全管理体制	7
(1) 輸送の安全を確保するための体制	
(2) 役職及び役割	
6. 地元の皆さまとの連携とお願い	10
(1) 踏切事故防止キャンペーン	
(2) こども110番の駅	
(3) 併用軌道走行時のお願い	
(4) らんでんパスポートの配布	
7. ご連絡先	11





1. ごあいさつ

～ご利用のお客さまならびに沿線の皆さまへ～

平素は当社嵐山線、鋼索線、架空索道をご利用いただきありがとうございます。

また、当社線沿線でのさまざまな取り組みについて、地域の皆さまに、ご理解、ご協力いただき、重ねて御礼を申し上げます。

当社ではお客さまの安全・安心を経営の最重要方針として掲げ、公共交通に携わる者として、全役職員が安全最優先の原則のもと、輸送の安全を確保するため、法令の遵守に努めてまいります。

この報告書は、鉄道事業法及び軌道法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに、広くご理解をいただくために公表するものです。

今後、より一層安全輸送への取り組みを充実させるため、皆さまからのご意見、ご感想をお寄せ頂ければ幸いです。

京福電気鉄道株式会社
代表取締役社長 岡本光司



3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 鉄軌道運転事故

本年中においては下記に記載しておりますものを含め運転事故等が4件（前年5件から1件減少）発生し、負傷者を伴う事故は下表記載の1件のみとなりました。

発生年月日	事故種別	場所	概要
2017年 8月19日	踏切障害事故	西院4号 踏切道	電車が通過中に子供が遮断している踏切を潜って電車に接触 (相手方児童1名負傷)

お客様の安全・安心のため、次年度も引き続き事故件数の対前年比減少を目標に、事故防止に努めてまいります。

(2) 災害（地震、暴風雨、落雷など）

嵐山線において、強風により沿線樹木の倒木が2度発生し長時間にわたり運転を見合わせました。隣接地の高木については、これらの事象を省みて土地所有者に伐採を依頼しています。

鋼索線・架空索道において、台風21号の接近により運転見合わせが発生しました。複数箇所倒木が発生。駅舎の一部も被害を受けましたが、翌日からは運転を再開することが出来ました。

昨今の局地的な豪雨による浸水等の危険が予測される場合においては、今後も安全を最優先に運行します。

お客様にはご不便をおかけする場合も予想されますが、何卒ご理解下さいますようお願いいたします。



(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

嵐山線においては、2017年4月8日午後、嵐電天神川駅東方の電柱で鳥の巣から鉄線が落下し変圧器を短絡させたため、全線で停電が発生。約6時間半にわたって全線の運転を支障しました。また8月18日早朝には落雷により北野線で複数の機器が故障。約1時間40分にわたって北野線の運転を支障しました。

鋼索線においては、2017年7月12日と7月16日に、架線トラブルが発生。運転を見合わせました。

その他、車両や信号機器の部品等の老朽化による故障が原因で30分に満たない輸送障害も数件発生しております。今後も設備・機器の更新、日常の整備・点検を確実に実施し、輸送障害の未然防止と速やかな復旧に努めてまいります。

(4) インシデント（事故の兆候）

2017年度中の、国土交通省へのインシデント報告はございません。

(5) 行政指導等

2017年7月嵐山線において国土交通省による保安監査が実施され、軌道の整備状況や規程類の整備状況についてのご指摘を踏まえ、改善措置を講ずるべく、2018年度特に重点的に取り組んでまいります。



4. 輸送の安全を確保するための取組み

(1) 安全対策のための設備等の改善（主要な工事）

項目	設備名	内容	場所・対象
電気設備	信号保安設備	連動装置更新工事	嵐山線
線路設備	軌道道床・まくら木交換	老朽化した道床の交換や木まくら木のコンクリートまくら木化を行い軌道の安定度を向上	嵐山線
車両設備	台車・制御器・補助電源装置	老朽化した台車・制御器・補助電源装置を更新し故障発生頻度を低減	621号車 501号車
車両設備	ドライブレコーダー新設	嵐山線全車両にドライブレコーダーを新設し運転状況や車内の状況を記録し安全性を向上	嵐山線全車両
駅設備	バリアフリー設備	駅にスロープ設備等を整備しバリアフリー対応を実施	常盤駅

安全対策については、今後も引き続き第三者機関による現有設備の評価結果に基づき策定した『総合安全対策計画』を基本に、安全性向上に努めてまいります。



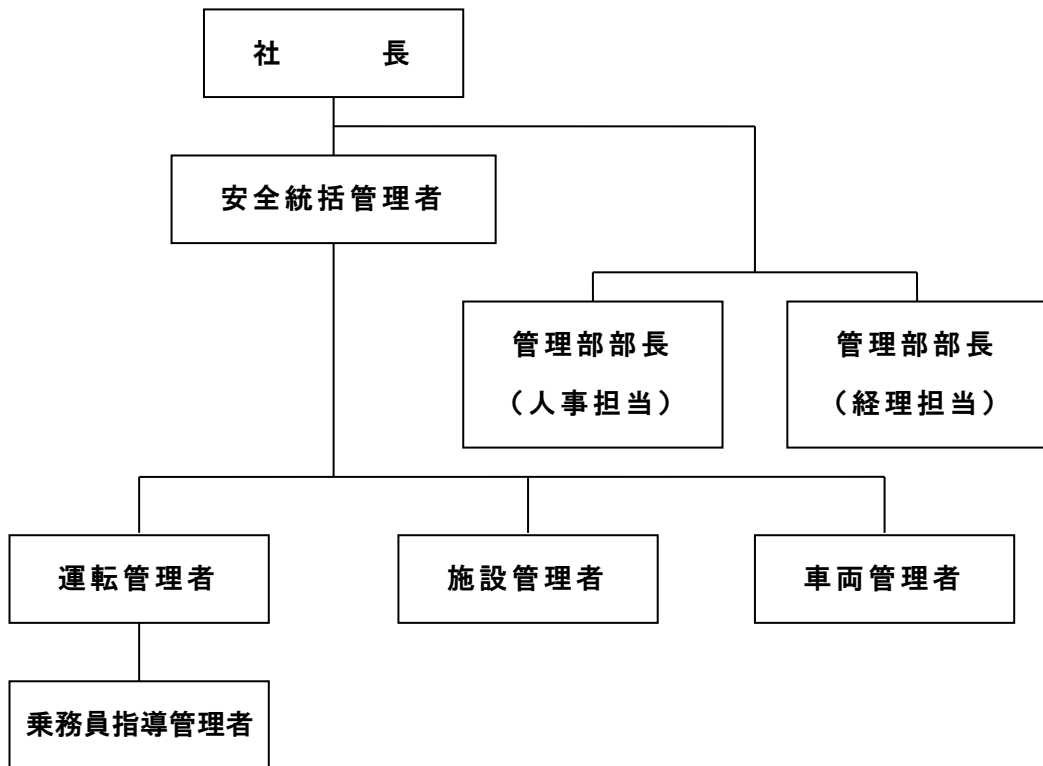
(写真：常盤駅バリアフリー化)

5. 安全管理体制

当社では、社長をトップに輸送の安全を確保するために、『安全管理規程』を定め、管理体制を下図のように明確にし、各責任者の役割も明確にしています。

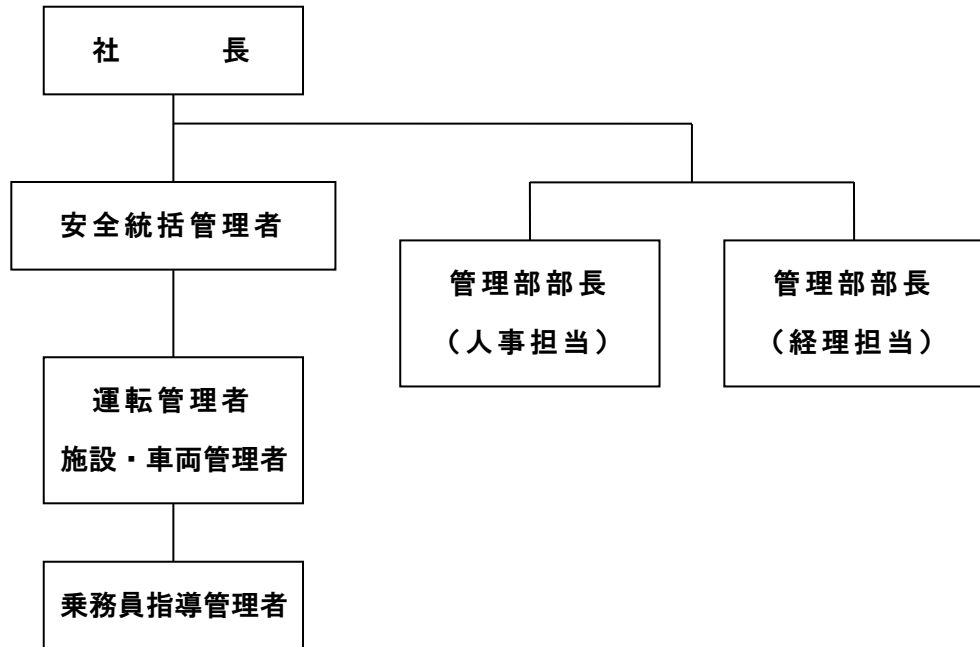
(1) 輸送の安全を確保するための体制

【嵐山線】

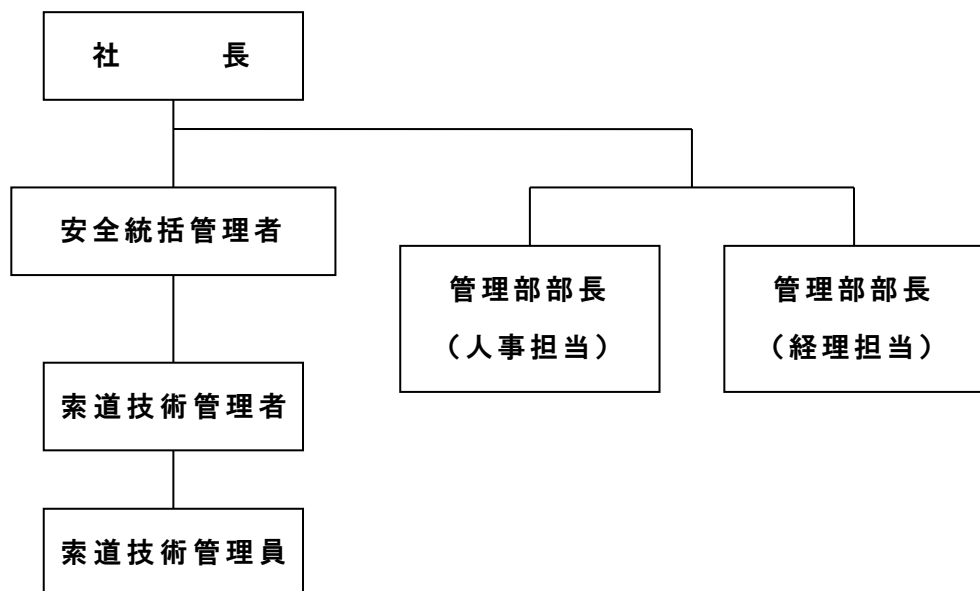




【鋼索線】



【架空索道】



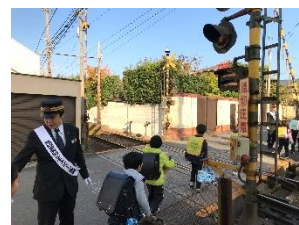
(2) 役職及び役割

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の維持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。
管理部部長 (経理担当)	輸送の安全の確保に必要な設備投資計画、財務に関して全社的な調整を行う。
管理部部長 (人事担当)	輸送の安全の確保に必要な人事に関して全社的な調整を行う。

6. 地元の皆さまとの連携とお願い

(1) 踏切事故防止キャンペーン

毎年11月1日～10日の10日間、
ドライバー及び歩行者の方々を対象に
踏切事故防止キャンペーンを実施して
います。



踏切事故の防止のため、踏切での自動車等の
一旦停止にご協力をお願いします。

踏切の遮断時間が長くなる場合もございますが、
安全のためくれぐれも無理な横断をなさらないで下さい。



万一、踏切に異常を発見された場合は、踏切付近に設置の看板の宛先までご一報下さいますよう、お願いします。

また、2017年11月13日には、嵐山線沿線の朱雀第7
小学校の3年生を西院車庫内に招き、安全な踏切の渡り方など
を知っていただくため、『嵐電教室』を開催しました。

(2) こども110番の駅

登下校時のお子さまを犯罪から守る
ための運動に参加し、当社も駅事務所
等に関西鉄道協会の統一ステッカーを
掲出しています。

こどもたちが駅に助けを求めた場合
には、当該こどもの保護や110番通
報等の対応を行います。





(3) 併用軌道走行時のお願い

平素は併用軌道における電車運行にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

併用軌道敷内は原則通行不可となっておりますが、一部区間については通行可能となっております。併用軌道を走行される際は、前後の電車の接近に注意いただき、電車の接近時には軌道敷外を走行いただきますよう、ご協力をお願いします。

(4) らんでんパスポートの配布

年3回、嵐山線沿線でパンフレット『らんでんパスポート』を配布しています。その中で併用軌道走行時のお願いや、駅の改良工事竣工箇所等についてお知らせしています。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全に関する取組みに対するご意見、ご感想は以下へお願いします。

京福電気鉄道株式会社

管理部（総務担当）

TEL 075-841-9381

FAX 075-841-4043

(9:00~17:00 土・日・祝日、

年末年始を除く)

